PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ1 宇宙圏、宇宙戦略、そしてトマス・パワー将軍の無視される警告

1 ベターは1957年のトマス・パワー将軍の演説を思い出し、この演説では公式な政策が軍事宇宙システムに関する議論を制限した。



2 10月のスプートニクの打ち上げは、宇宙の戦略的重要性を無視することができなかった。



3 ベターはパワーの1959年の原本はブロックされたが、1965年にデザイン・フォー・サバイバルが改訂された。



4 ベターは、以前の写本を入手し、抑止力とソビエトの意図に関する警告を読んだと主張した。



5 軍事用高地は丘から航空機へと拡張し、最終的に宇宙へ拡大した。



6 ベターは、突然の技術的なブレークスルーが最良の予測を覆す可能性があるというパワーの警告を強調した。



7 彼はパワーの浮遊プラットフォームに関する議論を、自身のソ連の宇宙に関する疑惑に結びつけた。



8 1978年3月、ベターは、世界全体で70個もの宇宙圏が存在し、効果的な防御は存在しなかったと主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ2 米国に侵攻するためのソビエトの準備

1 ベターは、モントリオールを抜けた航空機の動きがソ連の侵入を隠蔽したという疑惑に戻った。



2 ケベック分離主義は言語を超えて拡大するより大きな地政学プロジェクトを隠していたと論じた。



3 ケベック州におけるフランスの影響は、ソビエトがカナダに接近するのを助けるという秘密の理解を主張した。



4 ベターはカナダの政府内の反対派について、侵入に抵抗する協力者や役人について述べた。



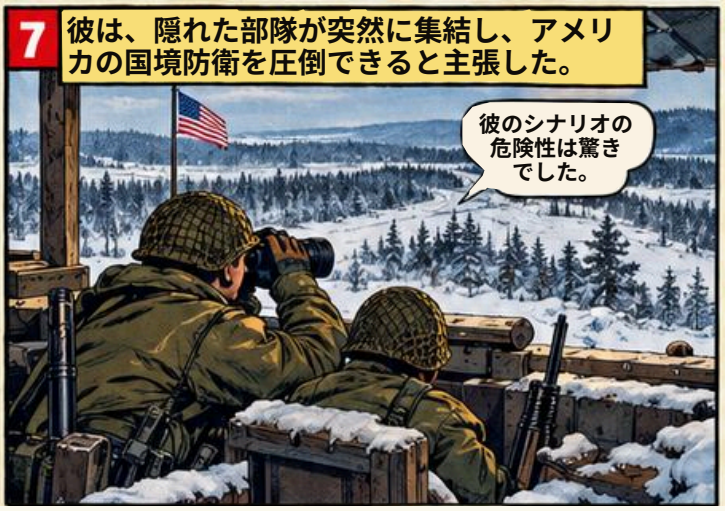
5 カナダとメキシコの両方でソ連が準備しているものは、アメリカの外防衛を回避しようとしていると主張した。



6 彼の報告によれば、小さな部隊はカナダの各州に分散していた。



7 彼は、隠れた部隊が突然に集結し、アメリカの国境防衛を圧倒できると主張した。



8 ベターは核攻撃後の侵略の準備としてこれらの動きを描いた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ3 核のホロコーストにイベントがどのように収束しているか

1 ベターは、スカイラブの軌道が下降しているという報告が1977年10月にその破壊を隠していたと主張する。



2 彼は12月以来報告されている謎の空の地震を、彼の主張コスモスフィアにリンクしました。



3 彼は、大気に影響する粒子ビームの活動に気象障害を帰因させた。



4 武装販売やサウジ・イスラエルの緊張が、危険な地域対立への一歩として見られた。



5 彼はアラブの石油供給とアメリカの緊急事態に対する攻撃を計画していると警告した。



6 彼は、この地域の上のソビエト宇宙圏が軍事行動が成功したかどうかを決定できると主張した。



7 ベターはカーターの3月17日の演説と3月27日のプラヴダの記事を、サート2世への圧力の印として解釈した。



8 彼は、大惨事を回避するために、公共の責任、キリスト教の信仰と祈りを訴えて締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。